

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(755)6000
担当部課名	生涯学習部	大野台公民館		
事務事業名	大野台公民館 体育祭事業		事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	6年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

大野台公民館体育祭実施要項

3 事業概要

(1) 事業の目的 大野台公民館区内の住民が、健康で明るく楽しい生活を送るために、体力の向上・スポーツの振興普及と住民相互の親睦を図るために実施する。	(2) 対象(誰、何) 館区内市民 対象数 約17,800人
(3) 平成13年度事業の内容 1. 100メートル走 2. 60メートル走 3. バスケットボールリレー 4. ゲートボールリレー 5. 綱引き 6. 1500メートル走 7. タイヤリレー 8. オールリレー 9. 鈴割り 10. むかでリレー 11. ジャンケンけつあつりレー 12. 障害物ダービー 13. 未就学児お楽しみゲーム 14. お猿のカゴヤ 15. 親子借り物競争 16. 400メートルリレー 17. 800メートルリレー	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし (5) 個別計画の概要 計画名 大野台公民館事業計画 計画年次 年度～年度 毎年、大野台公民館運営審議会で事業計画を決定し、実行委員会を組織し、事業実施をしている。

4 評価指標

指標名	参加人員		
指標式	館区内人口×0.1		
指標設定の意図	体力作り、健康作りについて考える契機であり、地域の交流、仲間作りの場としても重要なため、できる限り多くの参加者を得たい。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	960	0	a 1,100	b 1,700	1,800
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	130	130	130	130
	人員・時間数				
	人件費				
	その他経費	140	140	140	140
	合計	270	270	270	270
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1) 達成度・・・目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 64.7%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{1,100.0}{1,700.0} \times 100 = 64.7\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	----------------------------	----------------------------

理由：自治会の派遣選手、役員などの参加者が大勢をしましており、一般住民が気軽に参加できるように種目内容の見直しを図る必要性がある。

(2) 必要性・・・時代変化に適応した事業内容か

評価 B ▼	A : 適応している	理由：毎年、種目内容等の検討を行う企画委員会を設け、内容を見直しているが、レクリエーションの豊富な現在においては、趣味の多様化、個人主義などとあいまって、年々一般参加者の意欲が薄れてきているように感じる。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由：市の委託料130,000円のほか、自治会からの協力金約140,000円(賞品代)で実施。また、地域住民100名程度の実行委員が無報酬で協力しており、経済性は高い。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 C ▼	A : 代替の可能性ない	理由：現在でも、地域住民主体で実施している。自治会間の協力体制が今以上に整えられれば、市の委託料が無くても、より自由で盛大な体育祭を実施することが可能と思われるが、市の公民館主催事業という固定観念を拭い去る必要がある。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか

評価 B ▼	A : 満足できる	理由：走る種目や年齢別の種目などについては、世帯数の少ない自治会などではかなり負担になっているようだが、参加してみると楽しかったという感想も多く聞かれる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由：地域コミュニケーションが希薄化する中で、多くの住民が一同に会し、親睦交流を深める場として重要。また、昨年から中学生が実行委員として加わるなど、地域と中学生の交流の場、学社連携事業として更なる発展の可能性はある。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 一般参加者の増加 学社連携事業として更なる発展の可能性
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 公民館主催事業としての位置付けを変えない限り、これ以上地域に多く負担させることは困難。

7 総合評価

評価 A ▼		他自治体の類似事業との比較	体育祭は、地域住民の健康づくり、体力作りを考える場としてだけでなく、貴重な住民相互の親睦の場として一定の成果をあげてきている。また、学社連携事業としても今後更なる発展の可能性を秘めている。しかし、今後も市が主催する公民館事業として継続することについては、見直しを視野に入れて検討する余地があると思われる。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点